

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	看護と人間工学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時間	前期	教室名	各教室
担当教員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	病院で理学療法士として勤務			
《授業科目における学習内容》						
人間が行動を起こし、動作する場合における安全・安楽を追求する。人間工学の基礎をとおして、看護に欠かすことのできないボディメカニクス原理を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考図書) ベッドサイドを科学する 看護学生のための物理学						
《授業外における学習方法》						
教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題があれば提出期限を厳守すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ベクトルの合成図が描ける		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	ベクトルの合成				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ベクトルを垂直、水平への分解が行える。また、力の単位について説明できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	ベクトルの加減、力の単位				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	回転モーメントについて説明できる		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	トルク(回転モーメント)				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	体幹前傾角度から脊柱起立筋にはたらく力を求めることが出来る		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	脊柱起立筋に働く力				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ニュートンの第1～3法則について説明できる。関節の運動方向が医学的に述べられる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	ニュートンの法則、関節の運動方向				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	車いすからベッド間の移乗が安全に行える。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	移乗方法とボディメカニクス		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	光線、電気、水などの物理療法について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	物理療法の紹介		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ウイリアムズ体操やマッケンジー体操の特徴について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰痛予防の紹介		
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			